

日私  
教研

# いじめ対応緊急説明会開催

一般財団法人日本私学 十九日、東京・飯田橋の  
教育研究所(吉田晋理事 東京都私学財団で「いじ  
長、中川武夫所長)は一月 め対応緊急説明会」を開



約160人の私学関係者を前に講演する池田宏氏

の対応と題し、いじめの  
実態や構造等を説明、学  
校の組織的対応や関係機  
関との連携の必要性、危  
機の場面を迎えた際には  
正確な事実把握等が重要  
なことを力説した。

いた。相次ぐいじめ問題  
発生を受け急ぎよ、開催  
機能的場面を迎えた際には  
「いじめ問題で、まず  
は未然防止の中から見え

の対応と題し、いじめの  
実態や構造等を説明、学  
校の組織的対応や関係機  
関との連携の必要性、危  
機

いた責任ある方に聞いて  
向上させたいからで、今  
後もこうした研修会を開  
いていきたい」と語った。  
その後、講演した池田

と訴えた。  
また、いじめへの対応  
ではクラスの中から仲裁  
者が現れること、学校全  
体でいじめを許容しない  
雰囲気づくり、学校の組  
織的対応、一貫校ならば  
しっかりとした引き継  
ぎ、先生の気付きのツ  
ルとしてアンケート調査  
の活用、幅広い外部人材  
の活用、担任任せにせ  
ず、校内に対応チームを  
作ること、他のクラスの  
ことでも全体で情報を共  
有することの重要性を指  
摘。特に地元の警察署長  
と校長が日頃から顔が見  
えることが大切とした。

迎えた際には、思った以  
上に人と時間がかかるも  
のなので、余るくらいの  
体制(担当ごとの責任者  
と人員)を構築すること、  
学校全体での定期的な情  
報共有、正確な事実の把  
握、マスコミに対しては  
希望的観測や先入観を排  
除して冷静に対応する重  
要性を強調した。  
この後、参加者との間  
で質疑応答が行われ、近  
藤彰郎・同研究所理事が  
校長が先頭に立って取り  
組んでいく重要性を指  
摘、緊急説明会を締めく  
くった。

## いじめ問題で 文科省担当が講演

## 初期対応が最重要 外部の知恵人材活用を

の私立中学高校関係者が  
出席、いじめ問題に対す  
る関心の高さをうかがわ  
せた。講師は文部科学省  
の池田宏・初等中等教育  
局児童生徒課生徒指導室  
長で「いじめの現状とそ

講義に先立ってあいさ  
つした吉田理事長は、  
「文部科学省の(いじめ問  
題に対する)きちんとし  
た考え方や対応、アドバ  
イスをお聞きすることと  
まず校長や教頭と

者研修、十年経験者研  
修、職能別実務者研修、  
教員免許状更新講習など  
重要なこと、その際はト  
ップの意識が大事で、ス  
と校長が日頃から顔が見  
え

てくるもので、危機的な  
状況では初期対応が最も  
重要なこと、その際はト  
ップの意識が大事で、ス  
と校長が日頃から顔が見  
え

る先生方の気付きの力、  
うまく活用してほしい、  
さらに危機的な場面を  
学行政課長も出席した。

説明会には同省の森晃  
憲・高等教育局私学部私  
学行政課長も出席した。